

まつ みね 松が峯無線中継所

受賞機関 国土交通省北陸地方整備局松本砂防工事事務所

はじめに

姫川では平成7年に甚大な土砂災害が発生している。

平成12年より姫川流域の各支川や崩壊土砂生産の著しい稗田山の状況をCCTVカメラにより監視を始めた。

その映像や土石流センサー情報等を松が峯無線中継所に集め、無線機器と光ケーブルを利用し、各所に伝送している。

また、新技術として、自然エネルギーを利用する風力・太陽光発電を取り入れた先進的な中継所でもある。

事業の概要

工事名：松が峯無線中継所新営工事

工事期間：平成10年3月～平成12年3月

事業費：450百万円（建築、設備関係）

事業の特徴

松が峯無線中継所は、松本砂防工事事務所管内の情報基盤整備の一貫として進めているもので、姫川流域での重要な中継所として位置付けている。

この中継所の役割は、流域内の画像、土石流センサー等の情報を集め、各所に伝送することと、多重無線回線の中継所としている。



松が峯無線中継所(近影)



松が峯無線中継所(遠影)

各種情報を国土交通省や長野県庁・小谷村役場では「必要なときに」「必要な情報を」「必要なところで」取り出すことのできるように無線設備や光ケーブルの整備を行っている。

現在、当中継所では風力・太陽光発電設備が稼働している。太陽光パネル160枚と風力発電機3機により年間平均約2kWhの自然エネルギーを得ることができる。

得られた自然エネルギーを無線設備に使用することで、商用電力が災害等で途切れたとしても映像や情報を伝送することが可能である。

姫川流域の監視情報を地域へ提供することで、土砂災害への深い関心と災害時のすばやい対応が図られることを期待している。



ネットワークイメージ図